

広報 おおつまち 1974-10

スポーツの秋
みのりの秋

10月は体育の月です

家族そろってスポーツを楽しみましょう

人口の動き

出生数	18
死亡数	10
転入数	86
転出数	74
世帯数	4,764
男	8,932
女	9,867
人口	18,799

みんなそろって健康体操



下陣内あけての 区民体育祭

秋晴れの九月二十一日、下陣内区民全員南小学校に集合、こどもからおとしりまでの盛りたくさんのプログラムで賑った、各組合対抗得点競技でいやが上にも盛り、応援団も登場、各組の名譽をかけた仮装行列には、会場が湧き上った。

すべて区民の自主的な行事で、テキパキとした進行に区民の協調ふりがうかがえた。

- 2……巻頭 目次
- 3……昭和48年決算のあらまし
- 5……今月の健康メモ：生ワク投与のお知らせ 献血功労者表彰 若草学園だより 人権相談 建築相談
- 6……九電前に有線放送の設備 大津町区長会が発足 国民年金保険料個人納入 食品衛生協会便り
- 7……国有地をふくめて造成される皆さんへ 大津町消防団ソフトボール大会 消防団からのお祝い 県大会で二位 大津中器楽クラブ 九月現在の有権者 お知らせ 訂正 青色申告で合理化経営を 固定資産税、国保税集合徴収
- 8……大津町社会福祉大会 社協二つの研修旅行 行政相談週間 国保便り
- 9……心温まる善意 日曜在宅医 おめでとうございます おくやみ申します
- 10……町長に便りを出そう 心配ごと相談 九州青年の船に乗って

昭和48年決算のあらまし

昭和四十八年度大津町の一般会計及び特別会計の決算並びに昭和四十八年度に実施した一般会計の主な事業について概要をお知らせします。

一般会計歳入総額一、〇七五、八七三千元、歳出総額一、〇〇二、四一七千元、差引七三、四六二千円で、前年決算規模と比較すると歳入三九、四四、歳出で四三、四四の伸び率である。

▽積立金の造成

財政調整基金八、六八九千円の積立を行ない、将来の事業に対する経営資金、その他の特殊な財政の健全なる運営を図ることにした。

▽土壌開発基金の積立

公共事業の円滑な事業実施のため、用地の先行取得費として土壌開発基金会計え一三、一〇〇千円を繰出し、基金総額を五一、一〇〇千円とする

▽交通安全対策費

交通安全対策推進費として二、三九千円を支出し、標識ガイドレール、反射鏡を設置し、大津小学校に交通安全コーナーを設置して交通安全の普及に努めた。

▽社会福祉費

老人医療費の無料化の平年度化により医療費助成等四〇九、一千元、特養老人ホーム補助二、〇〇〇千円、国保会計繰出しその他、社協補助、老人クラブ補助等二、五〇〇千円を支出し、社会福祉の増進に努めた。

▽衛生費

衛生施設組合負担金として、ごみ焼却場の新設に伴う負担金等二二、二九千円、害虫駆除助成一、〇〇千円、火葬場及び排水汚泥工事九〇〇千円、上下道の改良工事繰出し一、〇〇〇千円、尚本年より新に〇才児の医療助成

制度を設け、一四六千円を支出し、保健衛生、環境の整備に努力した。

▽農業畜産振興事業及び農業基盤整備

農業振興施策として栗、養蚕、茶、煙草及び地域特産の振興育成、病虫害駆除と併せて畜産振興、農道の整備に努めた。水稲防除及び作物振興助成等に三、四六六千円、煙草近代化事業に三、三六六千円、瀬田農協建設に一、〇〇〇千円を支出するとともに同和対策事業として共同集荷所を建設し、三六五〇円を支出する。畜産事業補助六七八千円を尚農地費として大型農道関係、財産購入負担金等、二四、〇〇〇千円、農免道の用地先行に、八三〇千円その他岩坂中央線、山振大線、錦野農道排水、大型農道取付道路、単界排水路及び一般の農道改良事業に、三三、五六千円を投資し、農業の振興整備に努力した。

▽国土調査事業

本年度は杉水地区二八〇haの調査を計画しており実施し、七、〇七千円を支出する。

▽林業費

例年造林計画に基づいて町有財産の造成に努めているが、四十八年度における造林費は新植一〇ha、一三三、二二、千円、補植四二ha、一、〇三七千円、保育費として二、〇〇四、九六六千円その他八、三五六千円を投資し、長期健全財政の確立に努めた。

▽商工費

商工会、青年商工会助成二、四〇〇千円、商工会館建設助成三、〇〇〇千円、その他店舗改装利子補給等二、三四千円を助成し、特に本年度は中小企業者への融資の拡大のため県信用保証協会出金一、〇〇〇千円支出し商工振興に努めた。

▽道路維持費

道路維持費二一、〇六七千円をもつ

て町道の舗装化等に努め、新設改良費一、一七、八九〇千円の投資をもつて、新設改良に傾注した。主な事業は同和対策事業、特定地域振興事業、山振事業、上井手バリエット、単界事業及び塔之坂工事等であり、うち県道についても九、五〇〇千円を負担し、舗装するなど道路の整備に努力した。

▽住宅費

住宅管理費三、八七四千円、新築については建設計画に基づき西郷団地に第一種一二戸、第二種八戸四、七六八千円をもつて建設し、住宅難の解消に努め、現在町営住宅四三六戸となっている。

▽消防費

常備消防組合負担金二七、六四八千円を支出し、消防施設費として消防自動車一台三、〇〇〇千円をもつて購入し、動力ポンプ二台、防火木槽二基、火の見櫓、消火栓等七、六八七千円投じ消防施設の充実に努めた。

▽教育費

通学路舗装等に五〇〇千円、養護学校の新増築に七、〇一五千円を投じて建設し、施設の整備を図り、体育施設面に於ては町営グラウンドの整備に二七、三九五円を投じ施設の充実に努めた。

▽災害復旧費

農林施設災害復旧費三、六六三千元、公共土木災害復旧費六、一〇六千円をもって被害箇所への復旧に努めた。



住宅改修資金特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1 国庫支出金	1,177	1,177
2 繰入金	31	31
3 繰越金	117	118
4 諸収入	639	650
5 町債	3,500	3,500
歳入合計	5,464	5,476
歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1 総務費	211	208
2 事業費	4,698	4,698
3 公債費	555	554
歳出合計	5,464	5,460
差引残額 16千円		

交通災害共済特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1 交通災害共済会費	2,555	3,780
2 繰越金	4,586	4,586
3 諸収入	50	156
歳入合計	7,191	8,522
歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1 総務費	5,735	4,684
2 予備費	1,456	
歳出合計	7,191	4,684
差引残額 3,838千円		

歳入 (単位千円) 国保特別会計

款	予算額	収入済額
1 国民健康保険税	77,918	79,503
2 使用料及手数料	30	28
3 国庫支出金	168,097	177,922
4 県支出金	47	48
5 財産収入	649	649
6 繰入金	16,501	16,500
7 繰越金	9,391	9,392
8 諸収入	871	1,965
歳入合計	273,504	286,007
歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1 総務費	13,028	12,730
2 保険給付費	252,663	248,889
3 保険施設費	4,855	4,562
4 基金積立金	940	649
5 諸支出金	20	0
6 予備費	1,998	
歳出合計	273,504	266,830
差引残額 19,177千円		

歳入 (単位千円) 共有財産管理処分特別会計

款	予算額	収入済額
1 財産収入	1	1,688
2 諸収入	11	220
3 繰越金	1,200	6,446
歳入合計	1,212	8,354
歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1 総務費	1,070	1,057
2 予備費	142	
歳出合計	1,212	1,057
差引残額 7,297千円		

款	予算額	収入済額
1 町税	199,592	203,567
2 地方譲与税	7,400	7,931
3 事業施設利用税交付金	160	213
4 自動車取得税交付金	10,000	9,847
5 地方交付税	424,857	424,857
6 交通安全対策特別交付金	1,079	1,079
7 分担金及び交付金	17,746	17,601
8 使用料及び手数料	17,421	17,449
9 国庫支出金	115,606	116,044
10 県支出金	91,773	92,491
11 財産収入	17,669	17,186
12 寄附金	1,320	1,690
13 繰越金	72,811	72,812
14 諸収入	14,070	17,106
15 町債	76,000	76,000
歳入合計	1,067,504	1,075,373
支出済額		
1 議会費	27,372	27,253
2 総務費	193,576	187,839
3 民生費	180,042	176,542
4 衛生費	41,167	40,044
5 労働費	341	341
6 農林水産業費	127,283	125,116
7 商工費	13,467	12,815
8 土木費	190,599	189,662
9 消防費	43,818	43,560
10 教育費	155,704	152,751
11 災害復旧費	9,940	9,770
12 公債費	36,719	36,718
13 予備費	47,476	
歳出合計	1,067,504	1,002,411

天高く、血圧にご注意

秋風が立ちはじめました。夏の間は少し下つていた血圧が冷害と共に高くなることがあります。

普通血圧が高めの方や四十才以上の方は定期的に血圧を測定しましょう。大津町では昨年死亡した方の半数は脳卒中や心臓血管に關係のある原因で死亡されております。

年と共に多少血圧が高くなるのは仕方ありませんが日常生活の注意で中風や脳卒中を予防したいものです。では血圧とは何でしょうか。

血液を全身に送るために心臓が血液を押し出す力を血圧と云います。心臓がギョウと縮んで血液を押し出した時の圧力が最高血圧で、心臓が元の状態に戻りゆっくりとした時の圧力が最低血圧と云います。正常な血圧は昔は年令に九十を加えた数で表現していましたが、現在は大体次のように考えられています。

年令 最高血圧 最低血圧

二〇—三〇代 一四〇 九〇
四〇—五〇代 一五〇 九〇
六〇以上 一六〇 九五
血圧は運動したり食事したり、或いは

は興奮した場合は上りますので一度計つただけでは高血圧とは云へません。

高血圧の原因は何でしょうか

(一)腎炎、妊婦腎、大動脈弁膜症等が原因である場合

(二)塩分のとりすぎ、偏食等で栄養のバランスがとれていない方

(三)冬期における生活環境の悪化

(四)仕事のことや家庭内のことで気がつかうことの多い人

何れも原因がないのに遺伝的に血圧が高くなる人

以上のような色々な原因で高血圧がおこつてきます。

高血圧はどうして恐られるのでしょうか

(一)いつも強い力で血液を押し出している心臓が疲れ

て来て心臓に異状がきます。

(二)高血圧のために脳や腎臓の血管が悪くなり腎臓の働きが悪くなつたり、脳血管が破れて中風や卒中を起したりします。

家族の皆さんで、健康に呉々も留意して、明るく楽しく豊かな生活に過ごして下さい。

今月の健康メモ

生ワク投与お知らせ

第二回生ワク投与を左記のとおり実施しますので、該児はもれなく受けてください。

日時 一〇月二十九日(火曜日)

午後二時—三時

場所 大津町中央公民館

該当児 生後三ヶ月—一ヶ月

※一回投与します

※当日は女子手袖持参下さい

※該当児以外でまだ一回済んでいない者は衛生係に連絡下さい。

献血功労表彰

献血推進につきましては町民の方々より多数御協力を得て居り厚く感謝申し上げます。

去る七月十七日愛媛県松山市において第十回献血運動推進全国大会において次の方々が献血功労表彰を受け特別社員証書と銀色特別社員章が贈られました

大津 田上 融
平川 克
吉庄 正光

大津 豊岡 満穂

豊岡 一也

尚景、日本赤十字熊本支部より去る九月二〇日左の団体と個人の功労者に感謝状が贈呈されました

大津高等学校 大津産業高等学校
産業開発青年隊 練所
大津 限部謙吉(産業高等学校教諭)

若草学園 だより

引本子供会様五〇〇円

引水老人会様竹蓐一四本 雄布七四枚

社松下昭夫様子供会類多数

神戸生絲婦人部様お集り、日用品多数

なお当日は子供達との楽しいゲーム
ありがとうございました

若草学園学校へ五万円のお寄附

陣内星野ウメ様より亡き松様の遺志によりご寄附がありました。学校では天幕一張を購入しご遺志にもくいることにしました。

特設人権相談

日時 十月十一日(金)午前十時から
午後三時まで

担当者 熊本地方公務局職員及び大津町人権擁護委員

場所 大津町役場

無料建築相談

熊本県建築士会青年部会では、毎週土曜日午後一時より五時まで鶴屋百貨店西階「ウジシヨコ」に於いて建築について相談に応じております。

九電前に有線放送の設備

交通事故防止をねがって

九月二十日から大津町の九電前に有線放送施設が新設されました。これは肥後大津マータリクラブ（会長 中村治夫氏）から大津地区交通安全協会（会長 大塚内蔵氏）へ寄贈されたものを設置したものです。

皆様方もご承知のとおり大津町内（旧五七号線）での横断中の事故等が多く発生しております。事故の原因を分析してみますと必ずしも運転手だけの責任ばかりでなく、中には歩行者側にも不注意な点がある事故も見受けられます。

大津町区長会が発足

九月二十五日、中央公民館に、町内各地区の嘱託員さん四十九名が集まり、区長会を新しく発足させるために協議を行いました。

その結果、各嘱託員さんを区長さんに任命し、今後の活動方針についても話し合いました。

本会の目的は町行政の協力母体として大津町の発展に寄与し、区長相互の親ばくと連絡を図ることにあります。

役員は次のとおり

区長会々長	菊池一男	上鶴
副会長	吉良茂雄	真木
理事	元田猛夫	下陣内
	江見 淳	引水
	大塚清春	室
	永田惟光	片又
	太塚 明	下町
	大田黒則幸	秋田
	坂本逸雄	外牧
監事	江藤重雄	岩坂
	迫本 清	後迫
	野口一男	源場

ます。交通事故を防止するには運転手歩行者両方がそれぞれルールを守ることが必要です。それで一件でも交通事故をなくするため、朝、夕のラッシュ時や交通混雑時等に、運転手と歩行者の皆様方に交通事故防止についての注意を呼びかけるために設置されたもので、設置場所附近の住民の皆様方には一時的にはご迷惑をかけることがあつたと思いますが、趣旨をご理解いただきまして、ご協力の程をおねがい致します。

国民年金保険料 個人納入

末尾に掲げた地区は従来民間の徴収委託の人が徴収しておりましたが、病気のためやめられたので母子会等を通じて後任者をさがしましたが引受手がないため、本年度三期以降は各個人の納付書を嘱託員、組長さんを通じて送付します。第三期の最後の納入月日（十一月二十五日）まで三ヶ月分取まとめ納入して下さい。

該当地区

三区	後迫東、立石一、二、三
四区	吐
引水	空海ビル

食品衛生協会便り

四百軒の大世帯
保健所などのきびしい指導
大津町には従来食品組合なるものがありました。それが昨年、中央食品衛

生協会大津支部（支部長 佐々木鶴喜氏）と仰々しい名前に改名されたのです。実はこの食品協会からのお知らせでございます。「俺には関係ないやー」等と言はないで下さい。皆様に関係大有りです。よ。では其の協会が一体どう云うもので、どんな事をしてるのでしよう。

酒屋、魚屋、食品店を初め飲食店、レストラン、病院、旅館等々々々その口に入る物を売ったり贈ったりする者は全部会員ですから四百軒程有る大世帯です。保健所からいろいろと講習会を出て来るし又取扱の責任者の問題が出て来たかと思ふと今新聞、テレビで騒ぎ出したA.F.D.の話が有り指示があり、それはそれは中々きびしい限りです。表向きは一内の品は良くて安いとか、とても美味しいですよ等々と云つて平穩にあきないしている様ですが、そこにはたえず消費者の目と目と保健所のうさぎ監視が必ずついているのです。それで一生懸命注意し皆様の意に添う様に時代にマッチして行ける様にとがんばつています。

八月三十日に一日食監が行われました。保健所、役場と協会それぞれに消費者代表として婦人会、総員二十余名が大津町の食品店、飲食店等々を点検、監視又指導して歩くのです。随分と大変しました。つて役場の会議室で意見の交換、質問等有りました。十名の婦人会のお方は各部課の代表のお歴々です。とても痛い所をつかれたので、此の一日食監の外に、尚回数食品監視員が廻ります。それに年に一回保健所直接の抜打食監と云ううるさいのが有りです。此の様にして業者は協会員は万全を期してやっている心算ですから皆様にはどうか御安心下さいと結びたいのですが、実はそうはいきませんあくまでも買入時は充分注意して新鮮度を確め衛生的なものを選んで下さる様お願いして筆を置きます。

国有地をふくめて 造成(計画)される 皆 様 へ

道路、河川、里道、水路、堤塘、池沼などは地域住民のための公共用財産で、ほとんどが国有地です。個人の利益のため勝手にこれらの国有地である河川敷や道路敷に家を建てたり、また里道や水路をつぶして土地造成をしたり工場等を建てることは許されません。これら国有地を移動したりまたつぶして造成しようとするときは必ず事前にこれらの財産を管理している県に相談してください。

御相談は次のところへ
最寄りの土木事務所 又は
道路、里道は 県庁土木部道路維持課
河川、水路は 県庁土木部道路河川課

大津町消防団 ソフトボール大会

優勝第三分団(下町)

恒例の大津町消防団ソフトボール大会は、九月十五日、町営グラウンドで開催されました。各分団の予選を勝ぬいてきた十七チームだけに、熱戦がくりひろげられ、結果は次のとおりです
優勝 第三分団(下町チー) 二位 第三分団(鍛冶村チー) 三位 第八分団(杉水チー)

消防団からのお願

大津町消防団六三〇人は町民の生命財産を守るために日夜努力しています。消防団から次の事を皆様にお願ひします。
火災発生時の問い合わせ電話の禁止
火災発生時の連絡がありますと、当直者は町長、団長への連絡、本部団員の呼び出し、各分団への出動要請と全て電話で連絡します。そのような時に、問い合わせだけの電話が非常に多く、仕事に十分に出来ませんので、問い合わせだけの電話をご遠慮下さい。
消火栓を大切に
最近消火栓の故障が続出しています。大部分はいたずらや車での破損です。ポンプがなくても消火作業が出来るのは消火栓だけです。町民の皆様のご協力をお願い致します。

は町長、団長への連絡、本部団員の呼び出し、各分団への出動要請と全て電話で連絡します。そのような時に、問い合わせだけの電話が非常に多く、仕事に十分に出来ませんので、問い合わせだけの電話をご遠慮下さい。
消火栓を大切に
最近消火栓の故障が続出しています。大部分はいたずらや車での破損です。ポンプがなくても消火作業が出来るのは消火栓だけです。町民の皆様のご協力をお願い致します。

県大会で二位 大津中器楽クラブ

このほど行われた西日本吹奏楽連盟主催県大会で大津中器楽クラブが二位に入賞した。

このクラブは三四名で、六月より指導者に市原昭芳氏(本町二)を迎え、毎日二時間の猛練習を重ね、また合宿練習などを行なつたものである。

九月定時登録現在有権者

九月十日に定時登録を致しました結果、現在の有権者数は次のとおりです
新に登録された者 男 一一〇名 女 一五一名 計 二六一名
男 一〇一名 女 一五一名 計 二六一名
九月十日現在有権者数男六、〇一名 女七、二九四名 計 一三、三〇五名

固定資産税 国保税 第 3 期 出張徴収日程

10月23日	九時から二時まで	
	枚野川	板島林田
24日	内町野上	内町野上
	高平	高平
25日	尾上	尾上
	高平	高平
28日	高平	高平
	高平	高平

お 知 ら せ
大津町建築協同組合では理事会を開き九月一日より一日日当 五、〇〇〇円(午前八時午後五時迄電気道具代は別)を決しました

訂 正

広報九月号で子供会ソフトボール大会の優勝、準優勝の順位が入れかわっておりますので訂正します。

優勝 大津第十二分団子ども会
準優勝 大津第十二分団子ども会

青色申告で 合理化経営を

青色申告をすると、色々な控除ができ、国税の節税に役立つばかりでなく住民税や事業税も安くなるので助かっている。
(菊池)

青色申告をして帳簿をつけてみると、まだ上げと仕入れのバランスから、むだな仕入れがなくなつた(大津町)。これから青色申告を始めようと思ひの方は、税務署へ「青色申告承認申請書」を出してください。
税務署や各市町村商工会でわかりやすく説明していますので、どうぞお気軽におたずねください。

菊池税務署

大津町社会福祉大会

九月三十日午後一時より中央公民館で開催。これは大津町社会福祉協議会の主催で三年毎に開催されて来たもので、本年は午前中に六会場に分れて分科会を開き、それぞれのテーマによって議論を盛り上げた後、中央公民館に約四百人近きの関係者が集まって、本会議が開催された。

本会議は先づ分科会議長の報告から始まり、会長挨拶、各種表彰、来賓祝辞等があつて、最後に熊本の慈愛園パウラス老人ホーム園長の杉村孝氏の講話を聞いて散会した。

尚この日は中食の時、アトラクシオンとして婦人会の民踊があり、参加者を楽しました。

社協 二つの研修旅行

身体障害者の研修旅行

九月九日、大津町身障者の会（会長 園村重雄氏）は、年次総会を兼ねて、一行六十五名、一の宮簡易保険保養センターへの汽車の旅をしました。

累身障連の庶事事務局長の講話を聞き中食、休け。素人のど目機が飛び出したりして、賑やかに楽しく午後四時二十分帰りました。

尚この日は大津町身障児の親の会（会長 中村重氏）の会員も参加しました

老人クラブ会長の研修旅行

九月十日、大津町内の各老人クラブの会長さん三十名で組織して、老人クラブ連合会会長長甲斐貞政氏では、肥後銀行内牧保養所に一泊の旅行をしました。

各クラブの運営状況をそれぞれ発表して意見を交換した後、入浴、夕食と楽しい一夜を過ごしました。

行政相談週間

十月十三日、十九日

こういう方はいらつしやいませんか
役所の仕事について

デキベキやつもらえない

納得できない

どうしてよいかわからない

こうしてほしい

等役所に対する苦情、相談、意見があるがどうも関係の役所に申し出てくいと、どこへ申し出てよいかわからないという方は、お気軽に地元の行政相談

国保便り

医療の受け方 上手 下手

医療費と保険の掛金

国民健康保険は、住民一人ひとりの健康と生活を守る目的で、お互いに助け合いの精神にのっとりつくりだされた制度です。

私達は必ず国民健康保険は、はいっ待たなければならず、又その制度を維持するために一定額の保険料を払い込まなければなりません。皆さんが払い込んだいく税金も、それに国や町から出されたお金も加えられて国保の運営のための資金となります。

これは私達が病氣やけがをして医者にかかたときの治療費やお薬をもらって死にたときの費用の一部にあてられています。皆さんが病院で治療を受け、帰りに窓口で薬をもらい「医者の代」を払いますが、その代金はその時の治療費の全部ではなく、三割であり皆さんが三〇〇円払った場合、そのときの医者は一、〇〇〇円となる訳です。

残りの七〇〇円は後で国保が支払うことになる訳です。国保から医者に支払う医療費がどんどんふえていくと、国保の資金には限りがありますから、ついに赤字になります。資金が赤字になれば国民健康保険という制度をやる訳にはいけません。結局、私達自身で負担する方法しかない結果、保険料の値上げという結果

談委員会にお申出下さい。

お申出は直接口頭でも相談委員宅に電話又は手紙で結構です。

大津町の行政相談委員は次の方です

河津喜久重 水原町 電話三三七八
相談日は 普通 毎月第二火曜日
（役場町民相談室）

第四火曜（老人憩の家）

に行なっています
ただし十月は次により相談所を開設します

とき 十月十七日木曜十時十五時
ところ 役場町民相談室

なお今回は熊本行政監察局より係の方も見える予定です

になります。医療費がふえる原因はいくつも考えられますが、その中の一つに皆さん連の医者ににかかるかかり方！が大きな問題となっています。

早期受診と乱受診

医療費がふえる国保財政の運営がむずかしい結果は保険料の値上りになります。だから少々このことは医者に知らずがまんしろと言うことではありません。これは暴言です。たいしたことではないと思つて放つておくとか大変な手おくれで長い期間の治療を受けなければならぬという言ひはよくあることです。反面非常にお金のかかることです。これは「思うことがあつて」医者にかかると早く早く悪いところを発見して早く治療することが最も上手な治療の受け方です。ところがなんでもかんでも医者にかけこむ人、又は一人の医者とでは信じられないとか二軒も三軒も医者に行くと言ふ例もみえます。良くないことであり乱受診といえます。ただ、まづと医者に通っている人もあります。慢性的病氣の方もありますが自分の病氣の状況を良く知ることです。

「健康な生活をおくるためには十分な睡眠と休養をとりましよう」
次号へ

町長に 便りを 出そう

手すりがない橋

危険な場所についてお願いがあります。産交のそばの上井手に、手すりがない橋がかかっています。草がおしきつていて、その上にもしそこを足をとれたら川におちそうです。その川も流れが速くてふかひので、そして、水面から橋まで三メートル位あります。私はそこを通るたびに「あぶないなあ」と思います。

事故がない内にぜひ手すりをつけ土をきれいして下さい。町長さんひまがあったら、一度見て下さい。

お返事

現地調査の結果、今まで事故は有りませんでした。危険な場所ですので、製材所より木材を購入し業者に手すりを取付けさせました。充分とは云えませんが一応防護して置きました。あの道路は重要な道路ですから、江内に拡張になる計画もあります。その時は立派な高欄の付いた、危険のない鉄筋コンクリートの永久橋と変える事でしょう。

心配と相談日

毎週火曜日 無料

十五日 二二日 二九日

老人憩の身体湯日

二二日 二二二日

身障者相談日

十五日



中国訪問

九州青年の船に乗って

滝川光子

今度の訪問国は九州にとり地理的、歴史的に最も深く結ばれていた中華人民共和国であった。戦前多くの日本人がその地を踏んだ事である。日本人にとり中国とは決して見知らぬ国ではないのだ。しかし人々が知っている昔の中国と現在の中国では雲泥の差があるであろう。

現在の中国は毛沢東主席の下に、新しい社会体制の中華人民共和国を創りあげようと人民が一致して頑張っている。確かに中国自身が発展途上国というように、工業、産業の面では日本のそれに比べれば劣っている点が少ないとはいえない。しかしながら理論と実践(労働)を結びつけた教育体制と子供達に自分達の好きな部に入り仲間と協力して熱心に研究、訓練している。数多くの少年宮のあり方は、日本が全部それを取り入れる事はできないにしても手あき点が多々あるのではないだろうかと思う。けれども中国で行なわれている思想教育というのは八億の人民を育てるためには、それが一番大切な問題である事はよくわかるが、その徹底ぶりに政治を批判するか、個人としての自由な物の考え方というものが無視されている面もあるのではないかと一抹の不安をおぼえるものである。

又もう一つ考えさせられた事は中国における婦人問題である。中国の婦人達には大半が労働者である。毛沢東主席による「婦人は天の半分を支える」という教えに従って働いているのであるが、

男に出来る事は女にも出来るという觀念に立つて、トラック等の運転手、技術者、医者、あらゆる職場の幹部に進出してきている。各職場には託児所等の施設が整い、授乳時間等もかなり優遇されている。共働きの人の食事等はどちらか早く家に帰えた人がするという習慣になっている。私はこういう社会だったら婦人はとても働きやすいと思う。社会がこれだけ婦人を認め又育成している国も少ないのではないだろうか、とてもうれしく感じた。口先ばかりの男女平等で、まだまだ矛盾している所が多い、私も働く一女性として、もう少し女性を認めてくれる社会がほしいと思うものである。

中国の色々な面を見ても、これから自分の生き方にとりとても参考になる面が多々あつたと思う。この事を通じてますます中国の事に関心をもち国際的視野からこれからの中国というのを見つめていきたいと思う。

そして日中友好のために努力してゆきたいと思う。又九州各界に多くの友人を得た事は、中国を訪問する事以上にすばらしい収穫であつたと思う、この二週間、身体的には大部疲れたが内容的には私の人生にとても実り多き時であつた。この日々をいつまでも忘れない。九州各県の友人と手とりあつて郷土の発展のため、又私自身のために努力してゆきたいと思う。そして大津町の一人でも多くの青年がこの九州青年の船に乗って、視野を広め、ひるがえって郷土の姿を正しく理解し、「九州はひとつ」という事を実感として感じてほしいと思うのである。